

2013年3月期 第2四半期決算説明会資料

2012年11月16日(金)



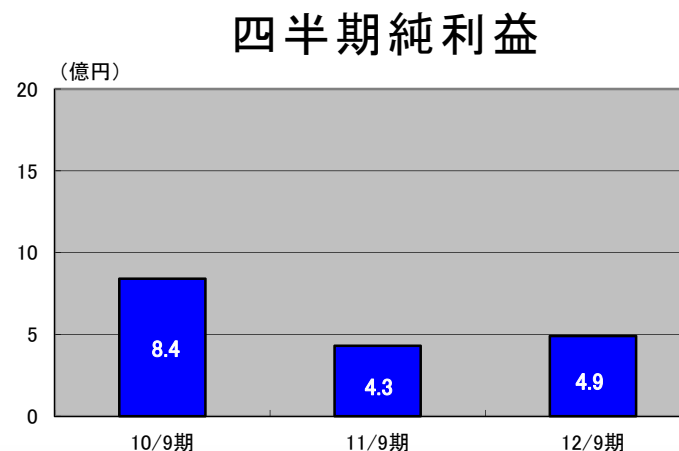
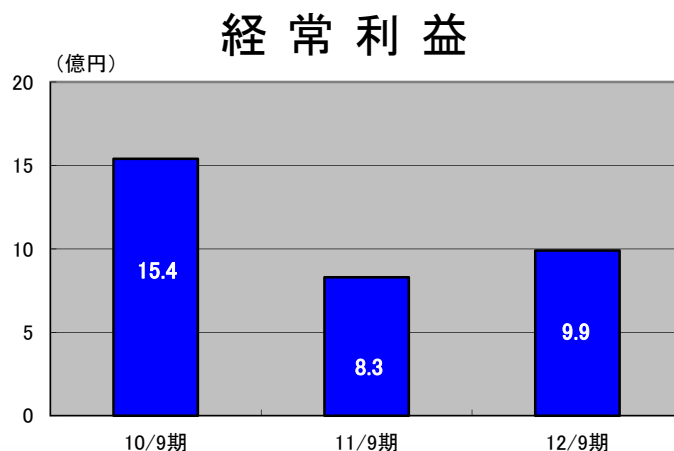
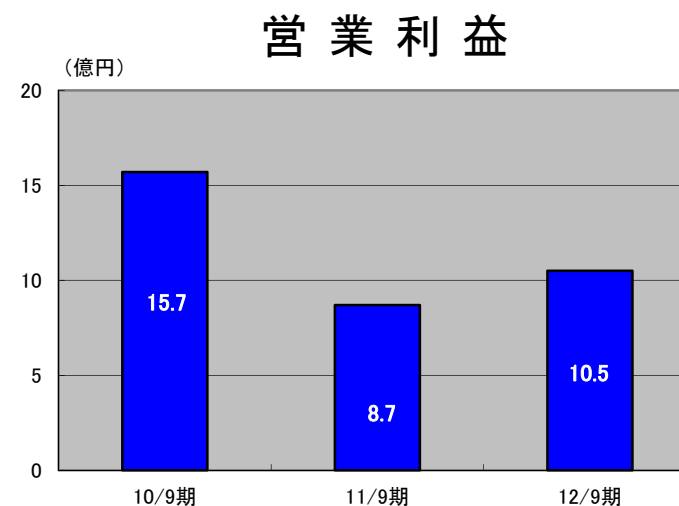
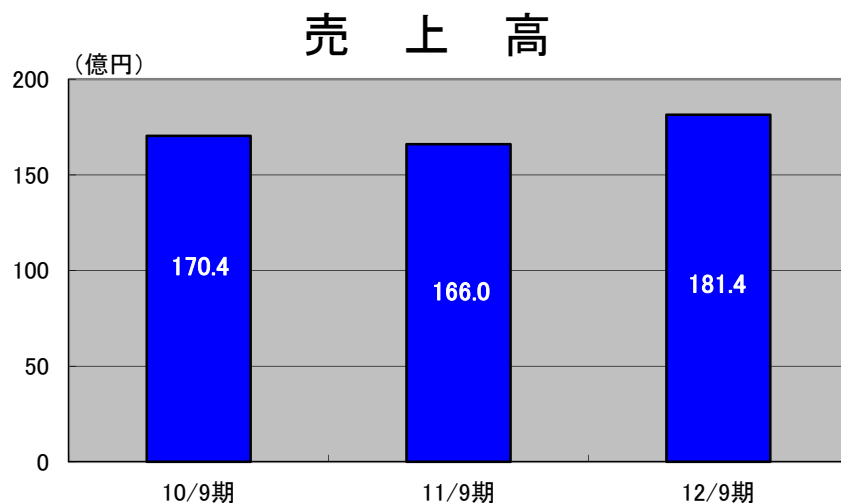
■ 2013年3月期 第2四半期決算の状況

■ 第2四半期の進捗と今後の課題

■ 2013年3月期業績見通し

財務ハイライト(連結)

- 売上高は過去最高を更新
- 営業利益は消費者パネルの切り替え、次期提供システム投資により経費が増加するも前年を上回る



2013年3月期第2四半期決算PLサマリー

業績予想には達しなかったが、売上高・営業利益とも順調に拡大

(単位: 百万円)

		11/9実績	12/9予想	12/9実績	対前期比
連 結	売上高	16,601	18,436	18,148	+9.3%
	営業利益	873	1,095	1,056	+21.0%
	経常利益	836	1,067	996	+19.0%
	四半期純利益	432	566	499	+15.4%
	EPS	43.00円	56.34円	49.63円	—
単 独	売上高	12,272	13,230	12,889	+5.0%
	営業利益	744	858	767	+3.2%
	経常利益	879	908	877	△0.2%
	四半期純利益	577	526	533	△7.6%
	EPS	57.45円	52.36円	53.09円	—

2013年3月期第2四半期決算BS・CFサマリー

(単位:百万円)

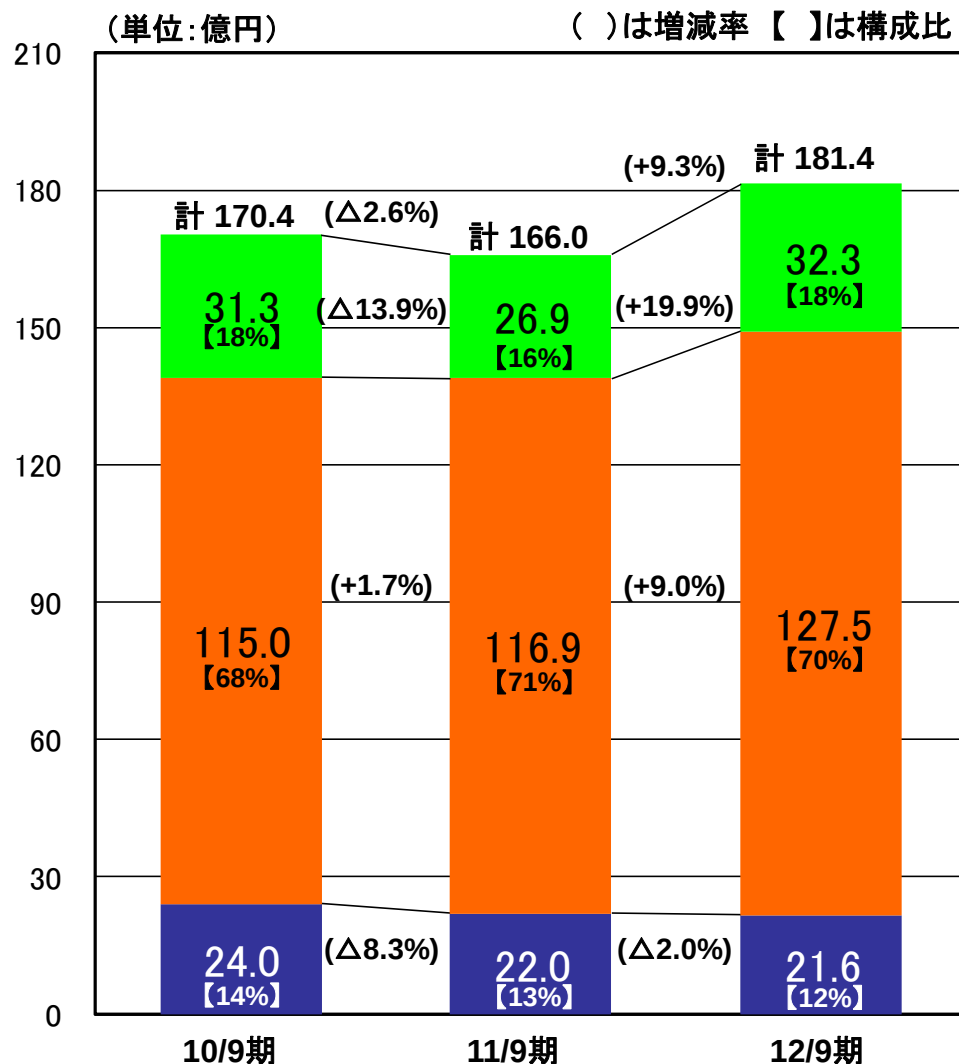
連結貸借対照表要旨	12/3	12/9	増減	摘 要
流動資産	15,591	16,123	+532	主に「現金及び預金」「仕掛品」の増加
固定資産	12,139	11,772	△366	主に「投資有価証券」の減少
資産合計	27,730	27,895	+165	—
流動負債	10,055	10,242	+186	主に「短期借入金」「賞与引当金」の増加
固定負債	3,157	3,110	△46	主に「長期借入金」の減少
負債合計	13,212	13,352	+139	—
株主資本	14,611	14,607	△3	主に「利益剰余金」の減少
その他包括利益累計額	△107	△78	+28	主に為替換算による差額
少数株主持分	13	14	+1	—
純資産合計	14,517	14,542	+25	—

(単位:百万円)

連結キャッシュフロー計算書要旨	11/9	12/9	増減	摘 要
営業キャッシュ・フロー	1,184	1,458	+273	主に「税金等調整前当期純利益」、「賞与引当金の増減額」の増加
投資キャッシュ・フロー	△898	△811	+86	主に「有形固定資産の取得による支出」の減少
財務キャッシュ・フロー	187	△275	△463	主に「短期借入れによる収入」「長期借入れによる収入」の減少
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	△9	+11	—
現金及び現金同等物の増減額	454	361	△92	—
現金及び現金同等物の期首残高	4,337	4,599	+262	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	109	+109	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,791	5,070	+279	—

セグメント別売上高の状況

市場調査・コンサルティング、医薬品開発支援が増収



医薬品開発支援

- 経営体制の変更により業務改革を実施。モニタリング業務、データマネジメント・解析業務ともに受注案件が増加・回復し、増収

市場調査・コンサルティング

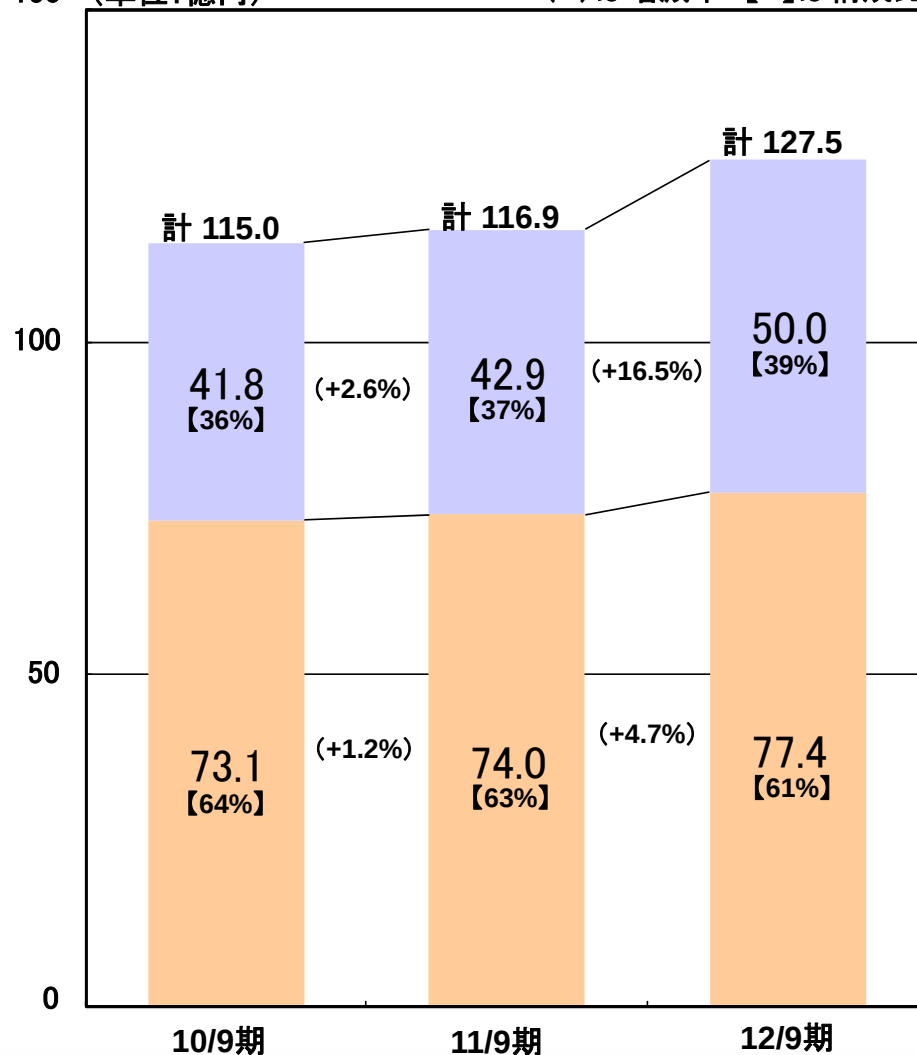
- 全体としては前年に対して増収 (パネル調査)
 - SRI、SCI-personal、SLIが引き続き堅調 (カスタムリサーチ)
 - 業界別SBUの強化・推進が更に進み、従来型調査・インターネット調査ともに順調に推移
- ※SBU: 戦略事業単位=Strategic Business Unit

システムソリューション

- 企業のシステム投資は緩やかな回復基調にあるものの、依然低調な水準で推移し減収

市場調査・コンサルティングの売上高の内訳

150 (単位:億円) ()は増減率 【 】は構成比



市場調査・コンサルティング

カスタムリサーチ

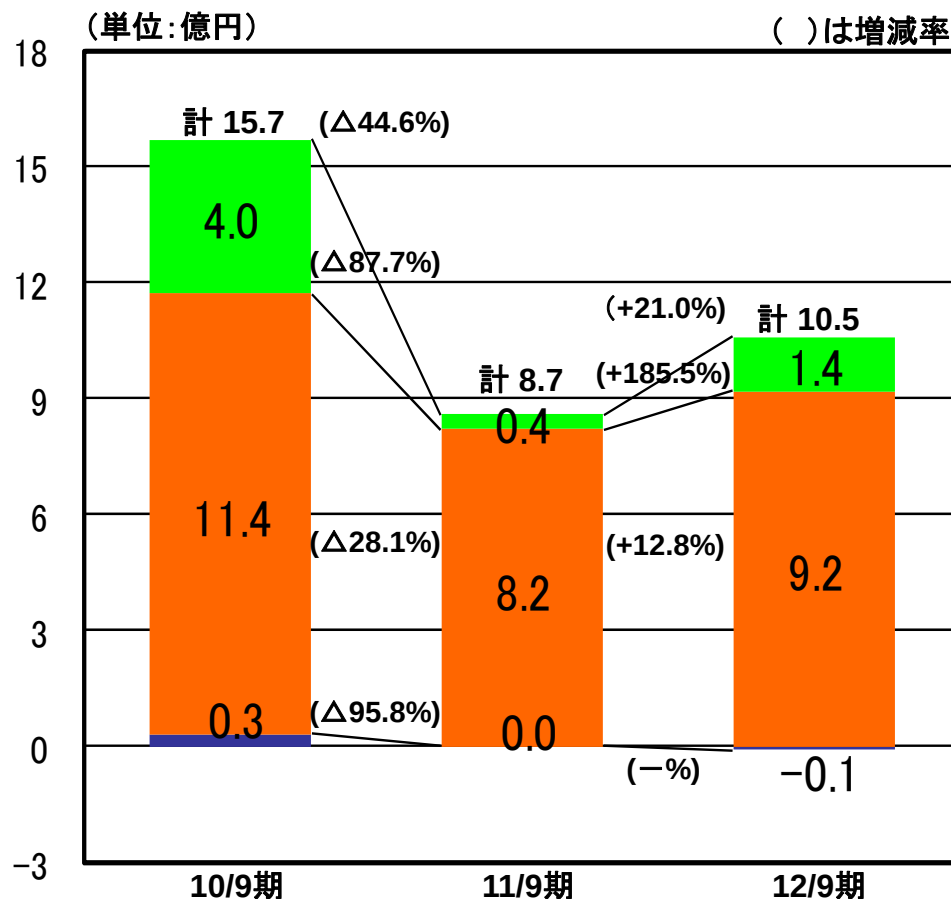
- ・ 従来型調査(郵送調査、面接調査 他)
- ・ インターネット調査

パネル調査

- ・ SRI(全国小売店パネル調査)
- ・ SDI(全国薬局・薬店パネル調査)
- ・ SPI(全国店頭プロモーション調査)
- ・ SCl-personal(全国個人消費者パネル調査)
- ・ SLI(全国女性消費者パネル調査)
- ・ Rep Track(MR活動評価指標) 他

セグメント別営業利益の状況

市場調査・コンサルティング、医薬品開発支援が増益に転ずる



医薬品開発支援

- モニタリング業務、データマネジメント・解析業務の売上増に伴い増益

市場調査・コンサルティング

(パネル調査)

- 売上が堅調に推移するものの、SCI-personalへの切替費用、次期提供システムへの開発投資により、前年同期に対して経費増

(カスタムリサーチ)

- 従来型調査、インターネット調査ともに売上が増加し、それに伴って前年比増



■ 2013年3月期 第2四半期決算の状況

■ 第2四半期の進捗と今後の課題

■ 2013年3月期業績見通し

第10次中期経営計画の基本方針(平成23年4月～平成26年3月)

グループ基本方針

“Next 50”へのテイクオフ
危機を乗り越え、成長軌道への離陸を果たそう

グループ重点課題

1. 事業の持続的成長戦略の推進
2. グローバル化の推進
3. THE INTAGE WAYの定着と深化
4. 自立したPro人財の育成
5. 危機管理の徹底とグループ団結力の強化

2012年度インテージ基本方針

大きな飛躍に向けた新領域への挑戦

成長に向けたキーワード

モバイル

グローバル

ヘルスケア

成長戦略のポイント

- 1.業界別戦略の徹底
- 2.モバイルやクロスメディアなど新規領域への挑戦
- 3.アジアにおける成長モデルの構築
- 4.ヘルスケア関連領域の拡大

業界別の進捗

FMCG

- 顧客への「棲みこみ」が一層進捗し、パネル調査・カスタムリサーチともに売上増
- 次世代提供システムi-Canvasへの着実な切り替えが進む

DCG・サービス

- 従来の旅行・自動車・通信業界に加え、電機業界への深耕が進む
- 出版業界では、出版POSサービスの顧客が拡大し、業界プラットフォームとしての期待が高まる

ヘルスケア

- アスクレップは新体制が順調に滑り出し、業績は回復基調
- 医療情報総合研究所の買収により、医薬品開発段階から処方実態までの把握が可能となり、従来の医師・患者情報とMR活動状況を合わせたトータルソリューションの提供が可能に

SCI-personalを活用した シングルソースパネルへの挑戦

情報接触と消費者行動との関連性を
解明できる国内唯一のデータプラットフォーム

Single Source Panel



日用品の購入履歴



オンライン接触
(PC/スマートフォン)



TV接触



その他のメディア接触/
意識・態度/セグメント

ドコモ・インサイトマーケティングとの協業

スマートフォン時代の到来(モバイルシフト)による
生活者起点によるインサイトの提供

大規模モニターにより
フィールド基盤が整備

カバレッジの拡大

生活者と共創へ

タイムリーなデータへ

理解が深まるデータへ

リサーチ事業

レコーディングリサーチ

販売開始

コミュニケーション
サービス事業

対話型プロモーション領域
などの新規事業

販売開始

リサーチ事業

モバイルインタビュー
クイックリサーチ
リアルタイムリサーチ

販売間近

レコーディングリサーチとは

2. モバイルやクロスメディアなど新規領域への挑戦

生活に密着した**モバイルだからできる**、
その瞬間にしか得られない生活情報を収集

「その瞬間」の気持ち、「旬な・ホットな」情報を収集



新しい調査手法への挑戦

ニューロマーケティング分野で日立製作所様と協業
従来のリサーチ+新しい手法をハイブリッド提供

脳機能計測



ウェアラブル
光トポグラフィ

脳活動の部位別・時間変化
→情動・記憶など

行動計測



アイトラッカー
(視線計測)

視聴時の視線を計測
→順序、位置、時間

主観評価



従来アンケート
インタビュー

消費者の発言や回答
→主観的判断・理由など

コンサル部門の進展

注目が高まる日本版顧客満足度指数(JCSI)

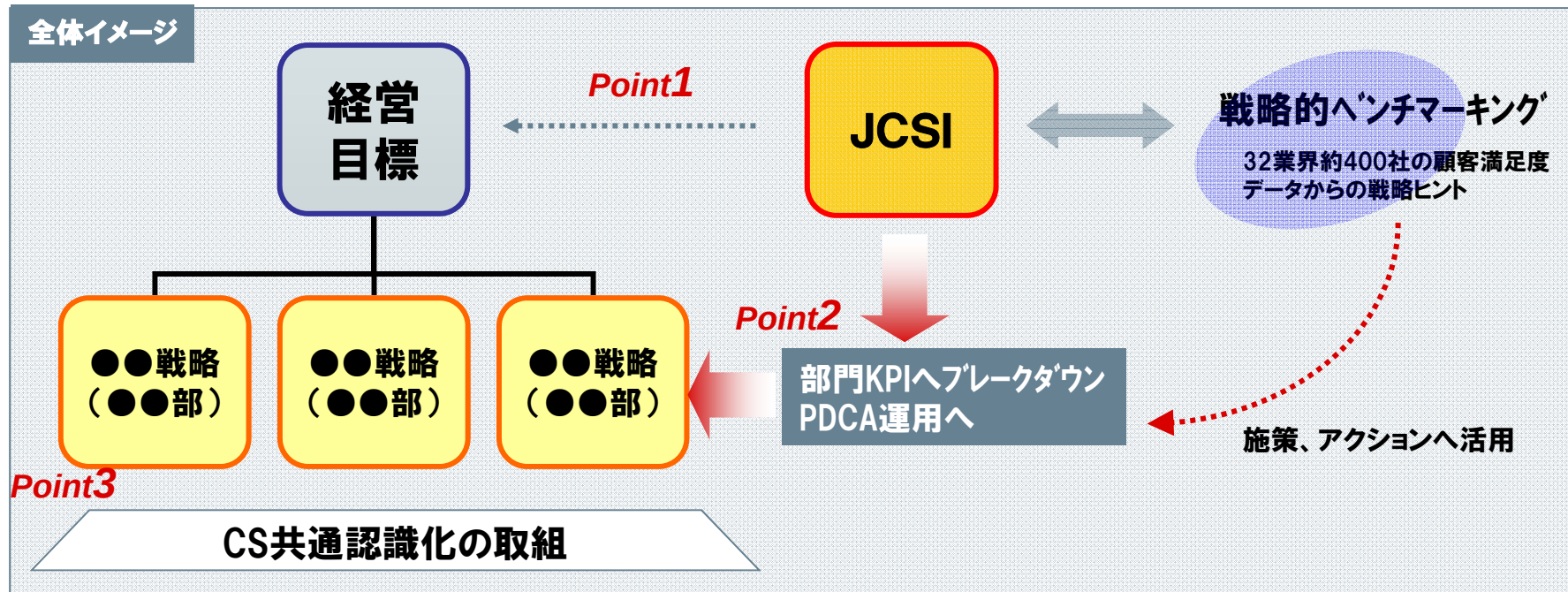
業界を超えて指標を見ることが可能
新聞掲載を契機に関心が高まっている

活用のステップ

Point 1 経営目標としてJCSIを採用(経営計画に)

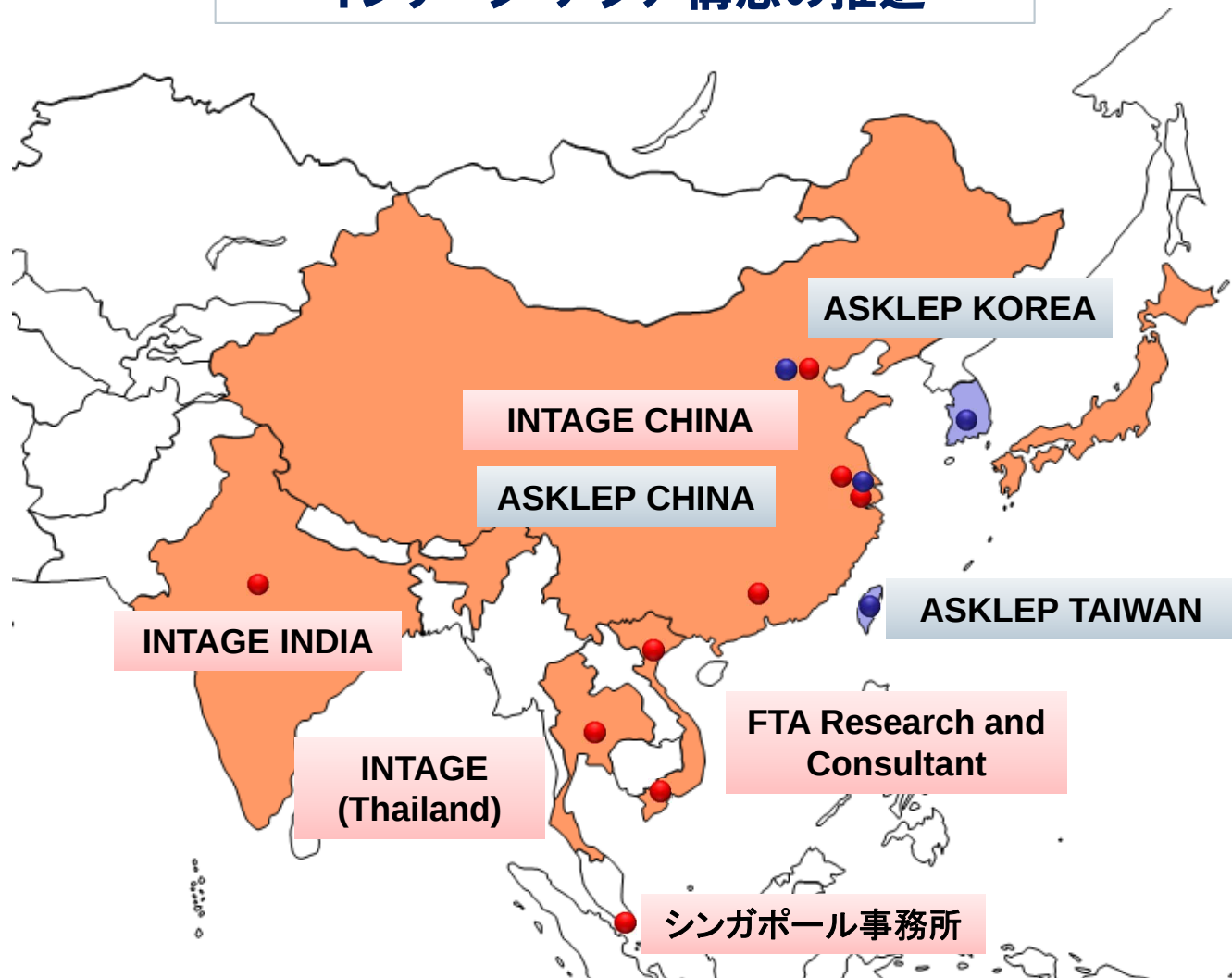
Point 2 経営と現場をつなぐPDCAを構築

Point 3 全社員の共通認識化への取り組み



加速度を増すアジア展開

インテージ・アジア構想の推進



マーケティング リサーチ

6月
広州事務所開設
8月
INTAGE INDIA設立
10月
シンガポール事務所開設

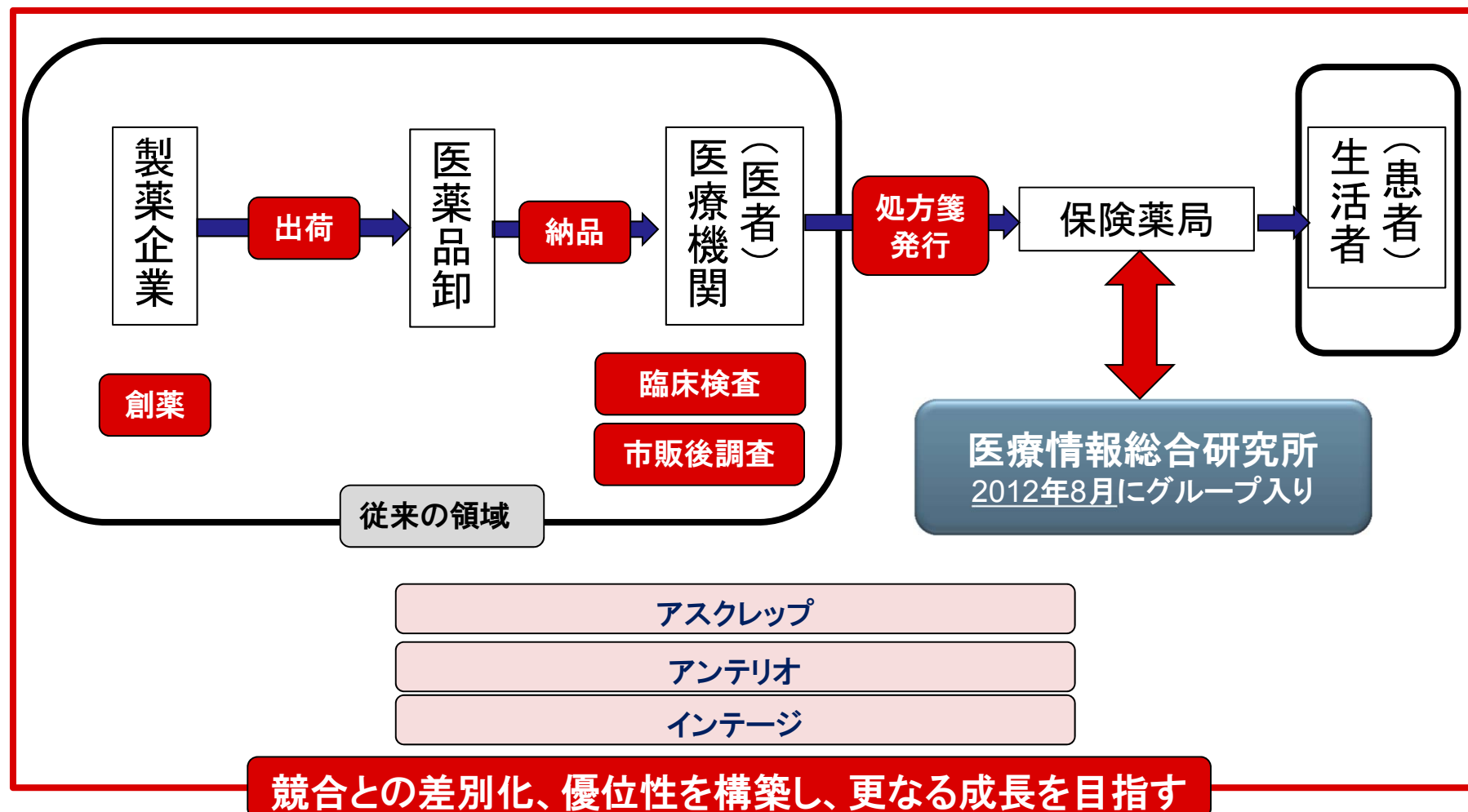
医薬品開発支援

6月
ASKLEP TAIWAN設立
11月
ASKLEP KOREA設立予定

ヘルスケア領域の進捗

グループ各社の連携が加速

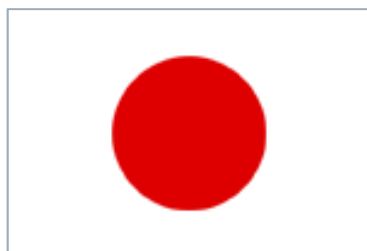
処方情報分析の医療情報総合研究所がグループ入りし、医療情報の
トータルソリューションの提供へ前進



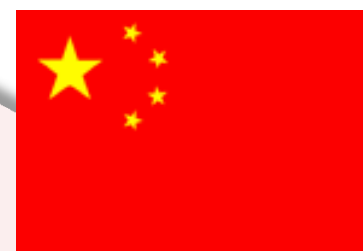
医薬品開発支援事業の海外展開

アスクレップは中国、台湾、韓国に拠点を展開
『アジアにおける国際共同治験対応が可能な体制』へ

日本



中国



2010年12月設立

韓国



2012年11月設立予定

台湾



2012年6月設立

ネットワーク
の強化

インテージは**国内No.1、世界8位**

マーケティングリサーチ会社 2011年度売上ランキング

	企業名	本社 所在国	売上金額 (百万US \$)	本国以外 での売上 比率(%)
1	Nielsen Holdings N.V.	米国	5,353.0	53.0
2	Kantar	英国	3,331.8	72.8
3	Ipsos SA	フランス	2,495.0	90.6
4	GfK SE	ドイツ	1,914.0	72.6
5	SymphonyIRI Group Inc.	米国	764.2	39.1
6	IMS Health Inc.	米国	750.0	64.0
7	Westat Inc.	米国	506.5	0.6
8	INTAGE Inc.	日本	459.9	3.3
9	Arbitron Inc.	米国	422.3	1.5
10	The NPD Group Inc.	米国	265.3	28.8

※AMA(全米マーケティング協会)調べ

グループ経営基盤の強化

“Next 50”へのテイクオフ

持株会社制への移行

【目的】

1. グループ全体の戦略的経営の推進
2. グループの事業領域におけるシナジー効果の発揮
3. コーポレートガバナンスの強化

【実施時期】

平成25年5月上旬 (予定)	取締役会において会社分割決議
平成25年6月下旬 (予定)	定時株主総会において会社分割関連議案の承認
平成25年10月1日 (予定)	会社分割の効力発生日 (持株会社制へ移行)



■ 2013年3月期 第2四半期決算の状況

■ 第2四半期の進捗と今後の課題

■ 2013年3月期業績見通し

2013年3月期見通し(連結/セグメント別)

(単位:百万円)

		12/3期実績	13/3期予想	対前期比
■ 市場調査・コンサルティング	売上高	26,190	28,653	+9.4%
	(パネル調査)	15,265	15,955	+4.5%
	(カスタムリサーチ)	10,924	12,697	+16.2%
	営業利益	2,568	2,860	+11.4%
■ システムソリューション	売上高	4,932	5,071	+2.8%
	営業利益	160	103	△35.6%
■ 医薬品開発支援	売上高	5,535	6,500	+17.4%
	営業利益	155	166	+7.1%
連 結	売上高	36,658	40,225	+9.7%
	営業利益	2,885	3,130	+8.5%
	経常利益	2,859	3,088	+8.0%
	当期純利益	1,325	1,756	+32.4%

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

今後3ヵ年の計数計画(連結)

(単位:億円)

	13/3期(予想)	14/3期(予想)	15/3期(予想)
売上高	402.2	442.8	483.2
対前期比	+9.7%	+10.1%	+9.1%
営業利益	31.3	39.7	47.1
対前期比	+8.5%	+26.8%	+18.6%

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

利益配分に関しまして

- 当社は、連結業績をベースに、配当と内部留保のバランスを考慮した利益配分を行うことを基本的な考え方としております。
- 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置づけております。
- なお、連結配当性向は25%を目安にしております。

	1株当たり 期末配当金	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	円 銭	%	%
11年 3月期	50 00	26.2	3.8
12年 3月期	50 00	37.9	3.6
13年 3月期(予想)	50 00	28.6	—

